

事例収集の目的

現状

- ・人口減少や高齢化による集落機能が弱体化するとともに、リーダー等を含む担い手も不足し、中・小規模の集落協定を中心として、活動の廃止が増加
- ・集落、市町村ともに事務手続きが負担となり、活動継続に支障

事例収集の目的

- ・他地域も同様の課題を抱える中、他の参考となる活動を行う集落の資源活用事例を収集し、分かりやすく整理し、市町村・集落協定に取組内容を広く展開

集落による実践

- ・人材、地域の資源、交付金の使途（話し合い、共同活動費、地域づくり、加算の目標、集落戦略、他集落等との連携）といったリソースを集落協定が有効に活用

期待する効果

- ・活動の継続に不安がある集落、特に中・小規模協定において、今後も集落機能が維持され、営農が継続される体制を構築（事務手続きの負担も軽減）

事例収集の対象テーマ

1 協定の連携、広域化等による効果

- ① 集落協定を統合して事務を一元化した事例
(例:福島県北塩原村)
- ② 集落協定間の連携により、協定を統合せずに、
(ア) 事務を一元化した事例
(例:島根県安来市)
(イ) 活動体制の整備を行った事例
- ③ 近隣の組織(集落活動センター、土地改良区、JA等)との連携による事務効率化の事例
(例:高知県三原村)
- ④ 協定の連携、広域化(未実施集落の統合、協定参加者の拡大含む)による共同取組活動費の有効活用事例
- ⑤ その他効果的な事例

2 集落戦略による効果

- ① 集落戦略策定ガイドラインを実践している事例
(例:アンケートや客観的データの活用、女性や非農家など参集範囲の拡大等)
- ② 集落戦略の作成をきっかけとして、集落の維持・発展に活かしている事例
(例:三重県南伊勢町)
- ③ 集落戦略の話合いを通じて、土地利用調整(守るべき農地を特定し、守り切れない農地は粗放的管理・林地化を検討するなど)を実践又は明確化した事例
- ④ その他効果的な事例

3 加算措置による効果

- ① 集落機能の弱体化等の課題に対し、効果的な目標を設定し、着実に目標達成に向かっている事例
- ② 加算に取り組むことで、
(ア) 集落組織の維持・発展に前向きな効果をもたらした事例
(イ) 地域の組織と連携体制が構築された事例
(ウ) 生活支援活動や地域資源利用活動に発展した事例
- ③ その他効果的な事例

4 市町村の推進体制の工夫による効果

- ① 市町村事務の簡素化
・現地確認の省力化事例
(ドローン、タブレット(省力化モデル実施市町村)、衛星等)
・推進交付金の有効活用事例
- ② 集落戦略の推進
・市町村による集落戦略作成支援事例
(例:兵庫県宍粟市、佐賀県(3つのデコポン)、山形県置賜総合支所)
- ③ その他効果的な事例

スケジュール

- ・令和4年6月～11月 現地で聞き取り調査
- ・令和5年1月末 収集事例を公表(農水省HP) (集落や市町村は、事例集を集落戦略の策定や集落協定の話合いに活用)

集落協定向け事例集

市町村向け事例集